

地域のみんなが一所懸命
取り組むことで
おでかけしやすく住み続けられる
地域にできる
～そのために地域公共交通はある～

地域公共交通プロデューサー
白川・東白川地域公共交通戦略特命監
名古屋大学大学院環境学研究科教授
加藤博和

地域公共交通の「あいうえお」

ありがたい(あることが難しい)

いきがいくくり(健幸)

うんてんいらず(安全安心)

えんのしたのちからもち(肝腎かなめ)

おでかけ、おもてなし(住んでよし、訪れてよし)



百回の陳情より 一回の利用

(誰かに助けてもらって)とりあえず残ったとしても、それを活用して地域が活性化しなければ意味はないし、守っていくこともできない
将来もっと深刻な形で問題が再燃する
当事者意識が大事
「まず自分から行動する」



岐阜県白川町・東白川村 (白川郷<白川村>ではない)

山間地域。4つの谷を1日数便のバス(民営)がJR白川口駅まで走り、主な集落で通院通学や来訪が可能だった

→ 知っていましたか?
(知らなくても暮らせる)

- しかし、運転手が定員の半分しか確保できず、2016年4月から大減便、休日全休
 - 2つの谷で高校通学不可能に
 - タクシーも1台しかない
 - すでに県内トップの人口減少。町内唯一の高校も閉校
- こういう地域は今後続出(全国最先端?)



地域公共交通がない = 消滅決定地域

- 通常、地方部では18歳で人口流出するが、高校通学ができない地域は15歳で流出する
 - さらに、家族ごと転出することも多い(住民票を移さず都市部に住む例が目立つ)
 - いったん転出すれば戻ってこない。そして、都会から移住したい人はなかなか果たせない(家がない、仕事がない、子どもと一緒にいる時間を長くしたいから移住しても15歳までなら本末転倒)
- 一番大事なのは、子どもが自由に動けること
- 子ども1人でも友達同士でも使える移動手段が必要
- ※もちろん、高齢者や来訪者にとっても必要
(3Kサポート: 高校生・高齢者・観光客)

「いまは乗らないけど、将来クルマが運転できなくなったら利用したい」という声をよく聞きますが・・・

- 公共交通よりクルマの方が便利で使いやすいから使っているのが現状
 - クルマはカーナビ・オートマ・パワステ・衝突軽減ブレーキで半自動
 - 一方、公共交通は調べないと乗りこなせないし、けっこう歩かないといけない(自動車学校はあるけど・・・)
- そんな方が、クルマが運転できなくなった時に、バスを利用できるのか?
 - バス停まで歩けるか? ダイヤを調べられるか?

結論:クルマが運転できなくなった時に公共交通が利用できるはずがない。つまりその時が自由に外出できなくなる時

- 公共交通を使う人は、クルマを使う人より元気!
- クルマに乗れるうちに公共交通も乗るようにしておくことが必要
- そうすれば、年老いても健幸(健康+幸福)のままでいられる(PPKにもなる)

(ここが一番の狙いどころ。ここを掘り起こすと大きく変わる)

日本経済新聞1/30朝刊28面

私見卓見

OPINION

「自動車がないと移動ができず生活が成り立たない」。大都市部などを除く日本のこの現状を変えることが、超高齢社会を乗り越えるために不可避であると考えている。

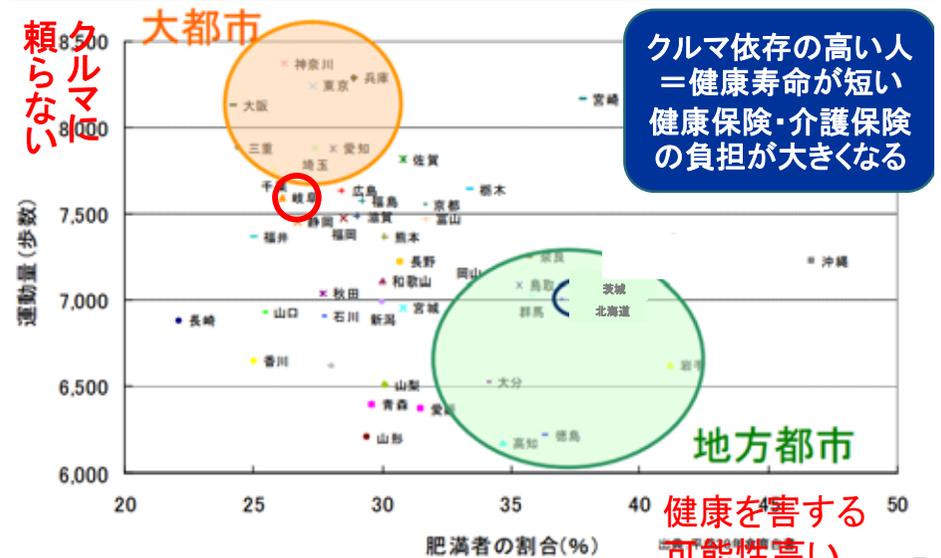
高齢者の運転で起きた悲惨な事故が報道され、「不安なので運転をやめたいが、その後の生活を考えるとできない」という高齢者が多くいる。一方、はたから見るとんでもない運転をしているのに「運転には自信がある」と勘違いしている高齢者も多々いる。

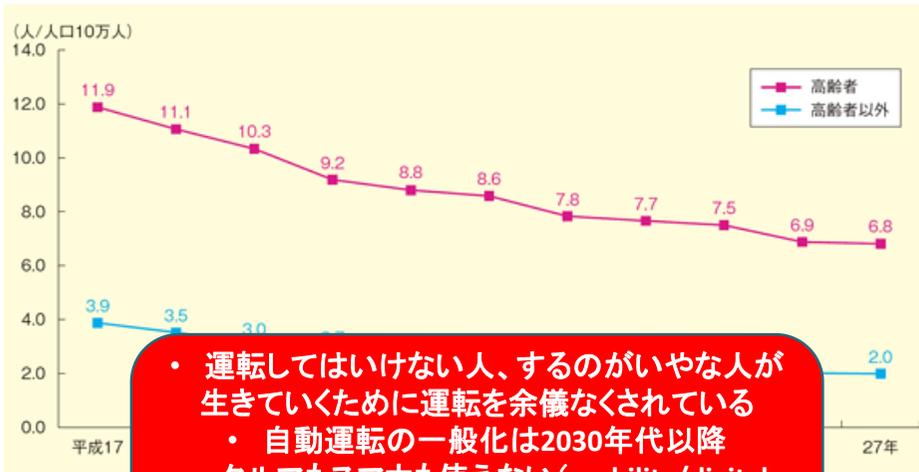
こういう方々に運転を控えていただけよう、自動車を使わずとも生活が不自由にならない社会にしていくことが

名古屋大学大学院教授
(公共交通政策)
加藤博和

「卒車」できる社会へ

田舎ほど運動せず不健康・・・クルマ依存だから





- ・ 運転してはいけない人、するのがいやな人が生きていくために運転を余儀なくされている
 - ・ 自動運転の一般化は2030年代以降
- ・ クルマもスマホも使えない (mobility/digital divide) 人を見捨てる社会になるのか？
- ・ 運転できなくても暮らしていける (安心して免許返納できる) 社会づくりこそ急務

(クルマがなくても) 「おでかけ」できること それが、地域公共交通の「一番の」存在意義

- ・ クルマがあれば地域公共交通はいらない？
- ・ クルマを運転できなくても、だれかに乗せてもらえばいい？
- ・ モノが来てくれればいい？ (通販、移動販売車など)
- ・ ITを使えばいい？ (SOHO、テレビ会議、チャットなど)



「おでかけ」しなくても済むのはいいけど、
「おでかけ」が自由にできないというのは健全か？
「いざというとき使える」「つながっている」という安心

「おでかけ」しやすくすることは、
生活を、そしてリアル地域を「いきいきわくわく」にするための方法の1つ
やるなら「乗って楽しい」「降りても楽しい」を目指す必要

乗って楽しい: 交通手段自体に魅力がある「乗る気になるか？」

降りても楽しい: 必要なところや行きたいところに行ける「どこに行きたいか？」

→「おでかけ」を提供することで、地域のQOL(Quality Of Life)を

高め、安心安全を守り豊かさを増進させてこそ存在し続けられる

「乗って楽しい」「降りても楽しい」 公共交通って？

(例えば..) 総合病院乗り入れは「路線バス勝利の方程式」
しかし、本当にいいことなのか？

- 病院は基本的には「降りて楽しい」ところではない
- そこへ行く利用が一番多いバスは「乗って楽しい」か？
- 高齢者は病院しか行くところがない？ (でかける口実がつかれない？)

- ・ 公共交通づくりは、集まりたい場所づくりとセットであるべき (商店街・産直・ショッピングセンター、図書館・生涯学習施設、温浴施設、コミュニティカフェなど)。
- ・ 駅・ターミナルといった乗継拠点の居心地をよくすることも重要 (明るく、テーブル、WiFi)
- それによって「おでかけ」が楽しくなり、「くらしが」「地域が」楽しくなることが本当の付加価値

利用者 (ニーズ) 起点でのカイゼン

見える化



魅せる化



見直す化

「見える化」公共交通に気付いてもらう

岐阜県中津川市 高校通学用時刻表(2018年10月版)



- 高校生はもちろん、中3生にも配布し、進学の参考にしてもらう
- 乗り方が分からない人が多いのでそれも解説



ターゲットに合わせた情報提供で訴求力を高める

「魅せる化」公共交通って便利そう！と思わせる

バス利用者のためのバスパック(観光バスパック)



- 八戸市および周辺地域では、上限運賃・中心街ターミナル整備・バス案内改善に加え、「行先との連携」によるおでかけ提案も進めている

2017/4→2018/3 十勝バス

日帰り路線バスパック

《出張ビジネスマンに人気 短時間で十勝観光》

バスで10分

「ばんえい十勝・とかちむら」バスパック

「愛の園から幸福へ」バスパック

大人/500円・小人/350円

大人/1,000円・小人/500円

地域と一緒に
「乗って楽しい」
「降りても楽しい」
商品をたくさんつくりたいことが有効

2017/4→2018/3 十勝バス

日帰り路線バスパック

《社会見学・歴史・芸術 に関心のある方へ》

バスで10分

「真鍋産園」バスパック

「ワイン城とDCI Saarden IKEDA見学」バスパック

大人/1,000円・小人/500円

大人/1,750円・小人/900円

大人/1,400円・小人/900円

「見直す化」公共交通をどんどんよくしていく！



事業規模の拡大で「攻めの経営」を推進。更なる増客を目指す。

車両数 764両 → 788両

走行キロ 81.4千km → 84.0千km

- 1 次々にやってくる! 新路線の増設によりサービス向上
- 2 地下鉄を結び結ぶ 乗客の利便性を高める
- 3 夜間・週末も充実 観光客のニーズに応える
- 4 乗客の安全と安心を確保 最新の車両と運転士の研修
- 5 地域の皆様と一体となった 地域づくりの推進
- 6 利便性向上に向け、経路の改善や延伸を行います
- 7 付帯サービスで機上への発展
- 8 市バスとの相互乗り入れを推進し、地域へ拡大します

利用者に訴求するキャッチフレーズを意識したコンテンツ見直しとメディアでの訴求。「便利になったな!」と思わせる。

ハイパーモータリゼーション下での バス・鉄道の見込み客への訴求の考え方（例）

- **クルマに乗れない人…確実に囲い込む**
 - 通院: 病院・処方せん薬局とタイアップ。診療時刻調整
 - 高校通学: 進路決定段階からバス情報を流す。高校別時刻表配布。部活対応。放課後対応
- **クルマに乗れる人…1年に一度でいいから乗ってもらえるようにする**
 - 通勤: ノー残業デーのまちなかへの便、深夜便
 - 買物: 停留所位置。荷物置場。特典付与
 - 観光: 見て乗って楽しいバスを走らせる

※何十年もバスに乗ったことがない、乗り方を知らない人がたくさんいる

※クルマに乗れなくなるほど体が弱ったときには公共交通にも乗れない

※クルマが使える間に経験しておくことが必要

「見える化」「魅せる化」「見直す化」 は三本の矢

- 「魅せる化」がない「見える化」…魅力がなければ、なかなか使ってもらえない
- 「見直す化」がない「魅せる化」…その時は良かった取り組みも、いずれニーズからずれ、やがて使ってもらえなくなってしまう
- 「見える化」がない「見直す化」…サービスを改善しても、そもそも多くの人に知られていなければ、使ってもらえない

では、この取組をだれが進めるか？

みんな勝手なことばかり言っていたのが 負のスパイラルを止められなかった原因

- 利用者 「不便だし、何か言っても変わらないし…」
 - 事業者 「利用が少なくて経営できないし、便利にしても乗ってくれるわけではないし…」
- それぞれが勝手バラバラなことを考えているだけでは、どんどん状況は悪くなるばかり
- 互いに話し合っ取り組むことができれば、いい方向に転換できるのでは？

地域みんなで気にかけて、
地域みんなで取り組むことが大事

「普通の路線バス」だってみんなで頑張ればよくできる

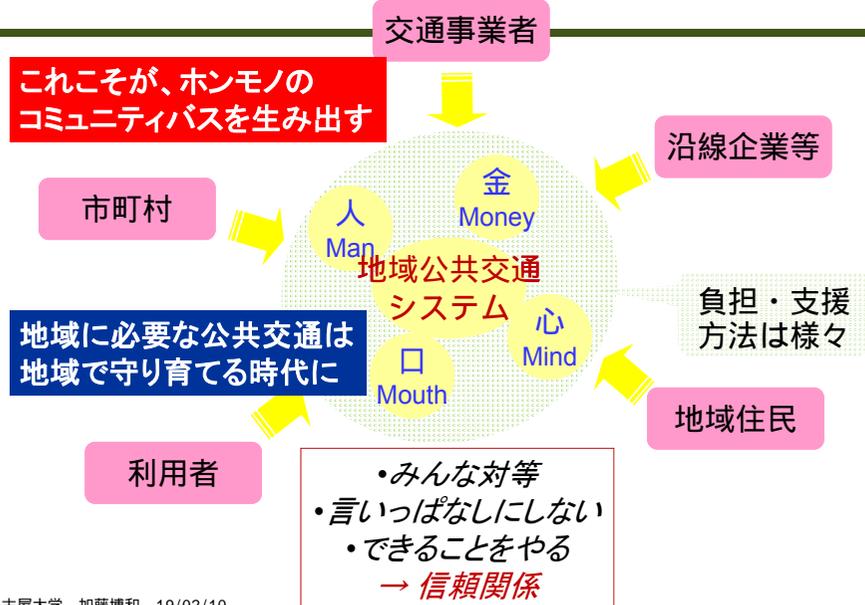
豊鉄バス レイクタウン線

(愛知県豊橋市)



- 豊橋鉄道大清水駅(終日15分ヘッド)から南に2~3kmの住宅団地。坂はない
- 自動車メーカー社員・家族が主に居住
- 利用者減のため存続困難に
- 地域でバス存続運動が盛り上がり、定期券・回数券集団購入(自治会の補助)や利用促進の取組
- 事業者も路線見直し(さらに南のレイクヒルズに乗り入れ、駅北のショッピングセンター<豊橋南プラザ>に昼間帯乗り入れ、団地内フリー乗降)など
- 市はこれら活動をバックアップ
- 危機に陥って10年近く経つが現在も存続

みんなで「一所懸命」つくり守り育てる



「一所懸命」成立の前提条件

～「新しい公共」言うだけなら簡単ですが、待っていてもできません～



公共交通を必要とする
地域住民の願いや活動

理解し下支えする自治体

協力的であり、あわよくば
新しいビジネスにしようと
する交通事業者

主体間の利害関係を調整する
コーディネーター
(当初はインタプリター)

意識共有できる人たちが集まり、行動できる場の必要性
何かをするために腹を割って話をし、分かり合う

「一所懸命」の中身

- 意識の共有
 - 公共交通を自ら「つくり」「守り」「育てる」ことの必要性をきちんと考える
- 本音の議論
 - 目的が共有化されているからこそ、利害を調整するために真剣に議論ができる
- 決まれば迷わず実行
 - 役割分担
 - 連携協働
 - PDCA
 - 適材適所

まち/むらづくり/おこしに貢献できる 「おでかけ」ネットワーク (=公共交通網)

- だれでも安心して暮らせる地域:「生活」支援
 - クルマを使えない人にも、生活に最低限必要なおでかけ(通学・通院・買物等)移動を保障する公共交通サービスや徒歩環境
 - 「空白を埋める」から「暮らしていける」へ
- だれでも楽しくお越しいただける地域:「交流」支援
 - 来訪する方も、域外に出かける方も分かりやすく使いやすい公共交通サービス
 - 「走っている」から「行きたくなる。住みたくなる」へ

「よくわからないけど漫然と走っている」のではだめで、
「地域のおでかけを支えるため必然的に走っていて、
それが当然ではないことをみんな理解している」へ

岐阜県白川町・東白川村 地域公共交通システム

2018年10月1日スタート

- 路線バス事業者
 - タクシー事業者
 - 住民ボランティア
- がタッグを組んで、高校通学・高齢者移動をカバー
(もちろん、どなたでも使えます)



名古屋大学 加藤博和 19/02/10

身近で便利な公共交通を目指して

白川町・東白川村の新しい公共交通が、いよいよスタート

白川町・東白川村では住民のみなさんが円滑にわたって、安心して暮らすことができるように、日常の移動手段を確保することを目的とする「白川・東白川地域公共交通戦略計画」を策定しました。
計画実行を経て、平成30年10月から新しい公共交通の仕組みがスタートします。地域・事業者・行政が三位一体となり「作り」「守り」「育てる」仕組みづくりを目指します。



おでかけ しらかわ・ひがししらかわ

◆だれでも気軽ににお出かけできるしくみ◆

- 路線バス「白川中央線」と「白川東白川線」を運行
- 路線バスに乗り継ぐ「予約制バス」を白川町内各地域から運行

◆高校生が自宅から通学できるしくみ◆

- 行きは朝7時前、帰りは夜19時前までの2本を合わせて、路線バス「白川東白川線」と「J」予約制バスを運行することで、白川町・東白川町内全ての地域から高校通学が可能



バスの種類 (どなたでもご利用できます)



路線バス

白川町内、東白川村の主要路線です。定期定額で運行します。予約は不要です。



予約制バス

町内、地区内の商店・病院・施設への移動ができます。乗り継ぎ場所にて白川中央線へ乗り継ぐことができます。予約が必要です。乗車料を事前に申し込んでください。自宅から利用できます。



J 予約制

Jは白川町・東白川村へ、朝「行き」と夜「帰り」に運行しています。予約が必要です。乗車料を事前に申し込んでください。予約制バス専用車両から乗車してください。

皆さんにお伝えしたいこと

1. 「おでかけの足」がまともにならないところは真っ先に人口減少し滅びる！
2. 「おでかけの足」を「地域自ら」先導して「つくり」「守り」「育てる」のは今や当たり前！
3. 「おでかけの足」づくりを「地域みんなで進める」ことで地域は魅力的になる！
蛇足:そういう地域しか、もう国は助けることができなくなった！

そのために、皆さん、何かしましょうよ！

名古屋大学 加藤博和 19/02/10

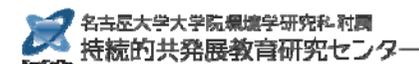
みなさん、1つでいいので 新しいことをやってください そうすれば「守り」「育てられます」

- 実際に乗る
- 人に勧める。宣伝する
- 活動に具体的に協力する
- より便利になるよう意見を言う
- 協賛をする、募る

「他人事」から「我が事」へ！

ぜひ参加してください！

名古屋大学 加藤博和 19/02/10



加藤博和

検索

URL:

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kato/Jkato.htm>

E-Mail: kato@genv.nagoya-u.ac.jp

facebook: [buskato](#)

公共交通戦略立案や路線バス網再編、鉄道存廃問題対応などに、各地の現場でボランティア参加しています。意識を共有できる方々とならどこへでも出かけて協力します！ ぜひ一緒に仕事しましょう！